



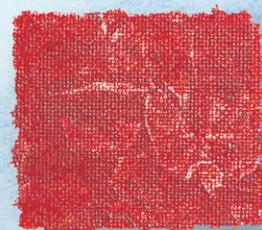
道

みちもり

MICHIMORI  
TSUSHIN

通信

vol.40 春号



阿蘇への道がつながった  
新阿蘇大橋と国道57号  
写真グラビア・現地座談会

みちづくし in 北九州2021  
新方式で開催、リモート参加も

コロナ禍の最中だからこそ  
道守さんたちは  
がんばっています (各県活動報告)

①新阿蘇大橋が開通。南阿蘇方面へのアクセスルートが回復 ②推定活断層の上をまたいだ部分は、地震が再発しても被害を最小限にとどめる工夫がされている  
③新観光名所。黒川左岸側に熊本県が提唱する「創造的復興」の一環として整備した展望所



熊本地震から5年—新阿蘇大橋が開通（令和3年3月）

# 阿蘇への道がつながった

## 喜びの顔、顔、顔



④開通した国道57号。崩壊した斜面に2本の「えん堤」などが築堤されている(中央に電車) ⑤旧阿蘇大橋付近で発生した大規模な斜面崩壊  
⑥県道熊本高森線(俵山トンネルルート)開通式。喜びいっぱいの顔、顔、顔—— ⑦被災状況。俵山トンネルの覆工板が崩落(県道熊本高森線)

## 道守九州会議 設立趣旨

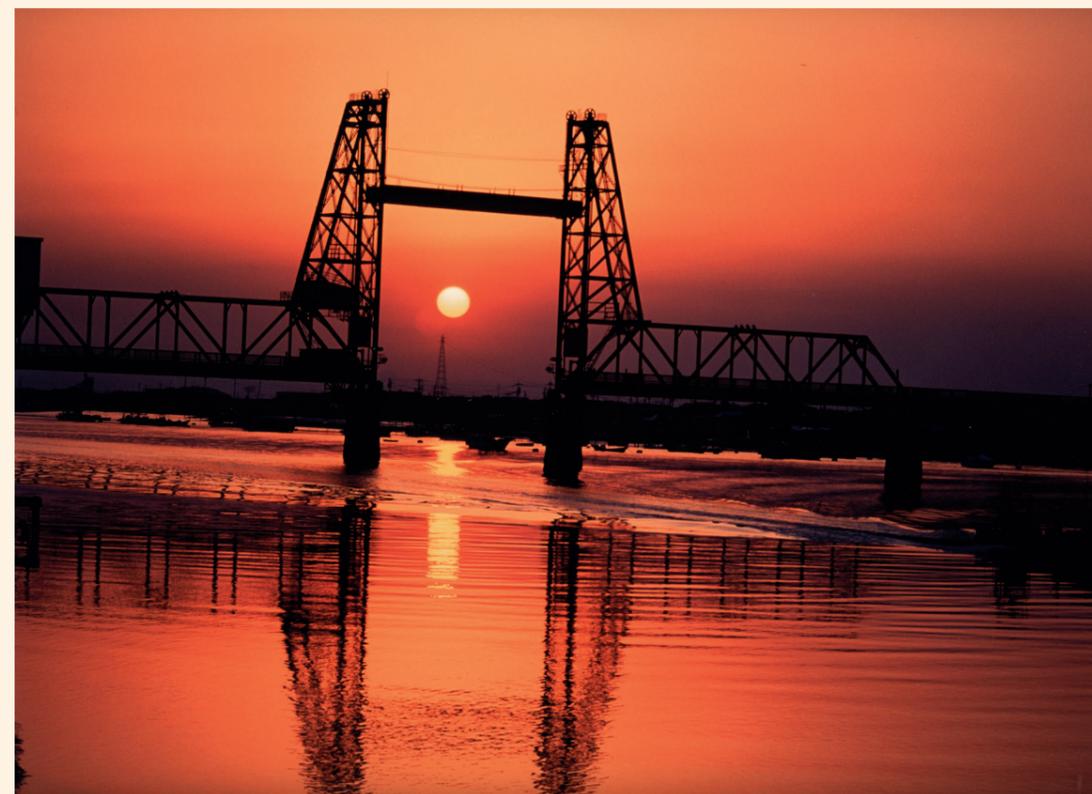
古代から、道は人々の共有財産であった。力を合わせ道普請し、守ってきた。道は街を作り、産業を興し、文化を運び、人々を結びつけた。つい、この間まで、子どもたちがキャッチボールし、縄跳びなどで、明るい歓声が響いていた。お年寄りも、縁台で将棋をさし、ほうきで道を掃き、水を撒くお母さんの姿もあった。そんな「日本の原風景」は何処へ行ったのだろうか。

確かに、高速道路やバイパスなどは整備され、日本の高度経済成長を支え、豊かな暮らしをもたらした。しかし、多発する事故、渋滞、大気汚染、騒音。何より、車優先社会は、人々の心を道から遠ざけてしまった。自宅前のごみや雑草さえ知らん顔。それどころか、空き缶のポイ捨て、家庭ごみの投げ捨てが日常的な風景になってしまった。

そんな現状に、心を痛め、清掃や花壇作り、植樹に取り組みむ人々が増えている。行政まかせから、「道はみんなの財産」という意識と行動。新しい「公」への動きが芽を出しているのだ。行政と住民が手を携え「協働」で道を守るという新しい意識の潮流。そこから生まれた九州各地の活動が、合流し、大きな流れになってゆく。「道守九州会議」の誕生だ。

道守。その由来は遠く万葉の昔にさかのぼる。道を管理し、守り、旅人の飢えと渴きを癒す果樹を沿道に植えたという。現代の道守は住民と行政が協働し「道と人の新しい縁」を紡ぐ。

さあ、新しい道に一步踏み出そう。



筑後川昇開橋（福岡県大川市向島）

### CONTENTS

- 01 新阿蘇大橋が開通  
阿蘇への道がつながった
- 02 現地座談会  
「度肝を抜かれた新阿蘇大橋」  
「難工事への挑戦に感動」
- 04 私たちの道守活動
- 11 わたしの好きな道  
道空間文化人類学のススメ  
加藤 千明
- 12 九州風景街道  
令和3年度 5つのチャレンジ
- 14 「みちづくしin北九州2021」の開催計画まとまる  
参集会議と各県のサテライト会場を  
オンラインで結ぶ新方式
- 16 道守人物伝
- 17 道守たちのトピックス・横顔・編集後記

表紙画：久富 正美

1935年福岡県生まれ。「小さい旗」同人。グループ「五架会」会員。

道はつながってこそ―熊本地震から5年、新阿蘇大橋が完成。山崩れで被災した国道57号も復旧、阿蘇地方への道が再び開かれた。熊本地震の被災地支援活動をした道守くまもと会議の阿南誠志さんと岡田敏代さんに、新阿蘇大橋の架橋、国道開通の工事経過と今後の阿蘇復興について、九州地方整備局熊本復興事務所の辻芳樹前所長と大榎謙所長と語り合ってもらった。

# 阿蘇の暮らしと観光に寄与

## 新阿蘇大橋と国道57号開通

**阿南** 阿蘇に住んでいて、復旧から復興までの経過を見てきました。

阿蘇大橋は、阿蘇の玄関です。できあがった様子を見て度肝を抜かれたという感じです。

**岡田** 熊本地震の時は益城の復興はじめ、南阿蘇鉄道に関わっていたので、今この道を見て、鉄道と道路が開通したこと、へりて資材を運び遠隔で工事を進められたことに感動しました。

**整備局** 我々国土交通省職員として一刻も早く復旧したいという想いで、地域の方々や建設業の方々のご協力をいただき、また、全国から専門分野の方達が集結し、一丸となって安全に復旧作業を進めてきました。

特に崩落した山の頂上で重機を吊って進めた工事は類をみないため、安全に配慮して工事を進め、無事故で終えられたことが誇れます。

当初は熊本市内から俵山ルートを利用して1時間以上かけて通勤していました。

**阿南** 当時は熊本市内からな

なこれなかった。

**岡田** 阿蘇の復興が当初から見ると早くできた。スピードアップできたのはなぜですか。

**整備局** 地震直後に全国から阿蘇へ応援に来ていただきました。推進室を設置し、応急復旧として仮設道路を整備しました。

まず、地域の皆さんの生活のために被災地までのルートを確認し、その後に一般車両の交通を確保するを行いました。

俵山トンネルの補修が早く済んだことで、12月には俵山ルートが利用できるようになりました。

**阿南** 土砂崩れで発生した50万立方メートルの土砂はどこに行ったのか。どういうふうにご処分されたのですか。

**整備局** ほとんどの土砂は川に流出してしまいましたが、斜面上部には不安定な土塊が残っており、崩壊・落石発生の危険性が大きいため、撤去する必要があります。

ありました。

その作業は安全に施工できるよう離れた場所からリモコンで重機をコントロールする「無人化施工」で実施しました。

**岡田** 再び崩落が発生する可能性は？安全に道路が利用できるでしょうか。

**整備局** 対策については、大学や研究機関の学識者に助言を頂きながら進めました。

斜面上部は傾斜が急であるため、ネット工+鉄筋挿入工により地山を縫い付ける方法で、法面の安定を図りました。

斜面上部の緩傾斜部では、土留工を2箇所設け表面侵食や崩壊することを防止しました。

対策後も梅雨期間のモニタリングを行い、安全性を確認して頂いたことで、安心して通行できると考えています。

また、環境に配慮し、植生マツトを設置し、自然に種子が生えて緑が増えるようにしています。

**阿南** 国道57号の欠陥部の復旧工法はどのようにされたのですか。

**整備局** まずは、しっかり地質調査を行い、支持基礎を確認しました。これ以上浸食しないよう地面に鋼管杭を打って補強し、法面対策を施工することで、道路を構築しました。大分側にしても同様な方法で整備しました。

**岡田** 地震被害を後世に残すためには？

**整備局** 大規模な斜面崩壊は、阿蘇地方では象徴的な箇所であることから震災遺構として残し、後世に伝えていくため、この地域にちなんで「数鹿流（すがる）」という名称を使って「数鹿流崩れ」と称しています。

南阿蘇村の震災遺構保存検討会でこの名前をつけられ、記念碑が建立されました。自然災害伝承碑として九州で2番目です。

どう活用するのか、ここを回廊としてどう観光客を誘致するのか地域で考えていただければと思います。

阿蘇大橋が復旧して、高森や久木野なども賑わっていると聞いています。

**岡田** 高森町は、南阿蘇鉄道の終点である高森駅周辺のまちづくりを進めると聞いており、地元住民を中心に、頑張っておられますので、違った観光地になるのではないかと感じています。

**阿南** 俵山トンネルルートは6つの橋の被害が大きかったと聞いている。橋の基礎部分は、耐震・免震構造になっていたが、なぜ被害が生じたのか。

**整備局** 断層が県道沿いに走っていたため、橋全体の構造と言うよりは地盤の異常が全て橋に影響したのだと、壊れた箇所について、基礎から全て強固にしました。研究者の方にアドバイスを受けながら橋桁が痛んだ所を強化したり取り替えたりして復旧しました。

**阿南** 復旧され、南阿蘇村の道の駅や延岡、大分まで発展すると思います。57号も一気に4車線化されて本当に良かった。

**整備局** 単に復旧するだけでなく地域全体を考えてできることがないか考えながら進めてきました。復旧と同時に地域に種をまくことが重要だと思っています。

**阿南** 新しい二重峠トンネルから歴史街道が上がって風車の所から展望台が上がってここに降りるとという1日コースが出来てました。ミルクロードからは不



**阿南** 道路が壊れた時から阿蘇の生活が止まったが、北側ルートや阿蘇大橋が開通したので、南阿蘇村は助かっていると思う。熊本側の入り口です。大分や宮崎へ繋がりが、非常にありがたい限りです。

**岡田** 阿蘇大橋の付け根から折れて、落橋の原因究明はされたのですか。

**整備局** 色々な説があり解明されていないが、断層がどのように走っているのか、新しい橋を作るためにどうするかを検討して、工事に着手しました。今後も地震が発生することを

便だったが、二重峠トンネルが開通し、これを契機に中九州横断道路についても整備されて、便利になるのですか。

**整備局** 中九州横断道路の計画について、熊本都市部から合志市に至る大津熊本道路に着手しました。熊本県内だけでなく、大分まで繋ぐ道路であり、国道57号北側復旧ルートを活用する形になるかと思っています。

**岡田** 道の渋滞を緩和できるようにと住民は願っており、北側ルートが出来たので、利便性も良くなってきたと思います。

**整備局** 我々が道路計画を考える際、縦軸、横軸、そして循環を考えます。地域が連携し、発展するようこの地域では早く横軸を整備したいと思っています。

中九州横断道路は熊本西環状道路に繋がります。人口の伸びが高く、沿線に企業の立地も進んでいることから、道路整備により地域の活性化を図っていきたいと思います。

**阿南** 横断道路の整備について、県境の部分もたつくりように感じる。どうにかならぬのか。

**整備局** 外輪山にトンネルを掘ったのは北側道路が初めてで、阿蘇市の滝室坂道路でもトンネルを工事しています。さらなる

整備局 球磨川の復旧は、河川、道路、まちづくりなどに取り組む必要があるため、人命・財産を守っていくことを住民の皆さんに丁寧に説明していかねばならないと思っています。

つなぐりを持たせるように整備していきたいと思っています。

**岡田** 今回球磨川で被災して、道がいかに大切だと言うことを実感しました。孤立状態が続くと心細いと思うので、ルートを増やして欲しいと思います。

**整備局** 7月豪雨では高速道路は4車線が必要だという教訓を実感しました。

**阿南** 高速道路の重要性を感しました。トンネルばかりだと不満を言っていました。高速道路を充分活用しました。被災地には2日後には入れました。



## 「新阿蘇大橋に度肝を抜かれた」阿南さん 「へりと遠隔操作で工事に感動」岡田さん

考えて、断層線を推定した上で橋の構造を検討。

**整備局** 橋梁形式は施工性、経済性、早期復旧の観点等、総合的に評価して決めるものですが、景観面では阿蘇の首長の方々から、阿蘇の自然景観へ十分に配慮してほしいとのご指摘があり、最終的にすっきりしてシンプルな今回の橋梁形式に決まったものと聞いています。

**岡田** 橋の安全性にはどのような配慮がなされたのですか。

具体的には、推定活断層のある「断層交差部」とこれに隣接する「高架部」と「渡河部」の3つの橋で構成しました。渡河部は橋脚と橋桁を一体化したラーメン橋とし、地震で端支点が移動や沈下しても橋本体が自立可能な構造となっています。断層交差部を単純桁橋とし隣接する橋との縁を切ることで、地盤変状の影響を橋全体へ波及させない構造としています。また、断層交差部の橋梁下部工のけたかり長は、横に動いても容易に桁が落ちないよう片側2m程度張り出されています。

安全率を満たした上で、どこから壊れれば復旧しやすいかという観点からも考えました。技術的な知識を持った国の研究機関が常にアドバイスをしていただいたので、工事を進めていくのに非常に心強かったです。

**阿南** 平日なのに観光客が多いですね。駐車場は満車でした。道の駅を作る予定はないんですか。

**整備局** 我々の主目的は、復旧することであり観光名所をつくることではありません。熊本県では、新阿蘇大橋展望広場や立野ダム展望所、阿蘇パノラマテラス、数鹿流ヶ滝展望所に震災遺構などを周遊ルートの拠点として計画を立てられていますので、地域の皆さんがこの資産を

道守ふくおか会議

九工大生、企業会員へのアンケートを実施

令和3年3月18日、第6回道守ふくおか会議運営会議を福岡国道事務所において対面で開催しました。「三密」をさげ、透明板で仕切りをしての会議でしたが、令和3年度のふくおか会議世話人会に向けて、情報共有や意見交換がなされ、実りあるものとなりました。

また、九州工業大学の学生と道守ふくおか会議による企業会員へのアンケート調査を実施し、結果は今後の道守活動に反映できる内容でした。



対面での運営会議開催

株式会社津留建設（柳川市）

環境と向き合い続けてきたからこそ、環境への恩返しを欠かさない

（株）津留建設では柳川市三橋町棚町で毎月地域「斉清掃」に参加しております。10年体ます、会社全体で参加を続けております。弊社は環境と調和し、災害にも強く、長く住め、安心して呼吸ができる健康住宅を販売しております。もちろん人・環



朝一番から清掃活動



三柱神社から出発



社員だけでなく賛同いただく、関連企業の参加も

福岡ひびき信用金庫（北九州市八幡東区）

「彩」が生まれ、誰もが歩きたくなる通りを

北九州市道路サポーター「福岡ひびき信用金庫」は、職員の方を中心に構成され、皿倉山を望む素晴らしい景観の道路



本店前の通りの様子



OB-OGも大勢参加して

で、日々、花壇の手入れ・水まきや歩道の清掃活動を行っています。わずかな花壇からのスタートでしたが、現在は植付け場所も増え、また、OB・OGの方も積極的に参加頂いていることで、道路に「彩」が生まれ、「歩きたくなる」、「花壇の縁に腰かけて、ちよつと休憩したくなる」ような通りとなっております。（北九州市道路サポーターの会事務局）

よしいコスモス街道実行委員会（うきは市）

結成20年をむかえて「道を守り、きれいに」

よしいコスモス実行委員会は、平成13年に発足し、今年で結成20年を迎えます。「自分達の道路は自分達で守ろう！奇麗にしよう！」を合言葉に、国道210号



種まきの様子(コスモス)



コスモス満開

また、コスモスの満開時期には、地元自治組織主催の「福祉・コスモス祭り」を開催し、地元住民間の交流と親睦を図っています。輪が広がれば花の種類も増え、道路の美化・愛護と地域活動に発展していきます。四季折々の花が咲く、よしいコスモス街道へぜひお越しください。（家永重信）

ワンダーランド柳川店（柳川市）

「地域社会に愛されるお店」を目指し私達に出来る事を

ワンダーランド全店（株式会社）社タイラベストビート）では企業理念の中に、「地域社会に愛されるお店」とあり、ワンダーランドがあるようなお店でありたい。「地域のシンボルとしてお客様に信頼され選択されるお店づくりを目指します。（中略）」と掲げ



三柱神社周りの清掃



柳川駅前清掃

コロナ禍に何ができるか

昨年から続く新型コロナウイルスの影響が今も色濃く残り、活動が制限される日が続いていますが、道守佐賀会議では3社4名の新規世話人を増員することができました。リモートシステムを利用した世話人会議では議論が活性化し、①Twitter公式アカウントの開設 ②オリジナルマスクの製作 に取り組むことにしました。オリジナルマスクを着用して感染拡大防止をしながら、活動者の一体感の向上を図り、楽しみながら活動する様子をSNSで紹介し、活動の幅を広げられるよう随時更新しています。今後の展開として、道と人、グルメ、歴史を結びながら、地域の方々との交流が身近になるような運営をしていきたいなあと、春空を見ながら想い描いています。



森永建設株式会社（佐賀市）

長崎街道 肥前・美ロード活動

森永建設は、一級河川嘉瀬川の右岸で旧長崎街道沿い国道207号線近くに本社を構えて創業128年を迎えるところで、毎月最終金曜日の朝に国道207号や河川沿いも含めて清掃を行っており、当社では道守活動を「肥前・美ロード」活動と称して、長崎街道を綺麗な道にしたいこうと考えています。佐



国道207号嘉瀬橋近辺清掃活動



佐賀県庁前清掃活動(協会佐賀集合写真)



パルントイレ前清掃活動

株式会社中野建設（佐賀市）

縁をつなぐ「道」

私たちは、永きにわたり「建設業務を通じて公共の福祉に貢献する。」をモットーに佐賀県の地域の皆様へ清掃活動を通じ、感謝の気持ちを伝え続けてきました。清掃活動のみならずさらなるステージを目指すため、今度から道守佐賀会議の世話人として活動させていたいただくことになりました。



ひなまつり清掃活動(新第二社屋前)



ひなまつり清掃活動(本社集合写真)



国道264号清掃活動

道守長崎会議

道守と風景街道との連携

道守長崎会議では、日本風景街道との連携を推進しています。今回は、令和2年11月28日に実施した風景街道の一斉清掃に参加した皆さんの中から、道守であり日本風景街道「島原半島うみやま街道」のパートナーシップ構成団体でもある3つの団体をご紹介します。

みんなでスクイを造ろう会（島原市）  
島原の伝統を子供達へ  
私たちは「みんなでスクイを造ろう会」という団体です。スクイとは江戸時代から伝わる伝統的な漁法のひとつで、海中に石垣をつくり潮が引いたときに取り残された魚を捕るという自然を活かした漁法で、このスクイ（石垣）を補修・保全しながら伝統を子供達に伝えていこうという活動をしています。

令和元年度、島原半島に風景街道が誕生する際に声をかけていただき、「この伝統や風景をもっと知ってもらいたい」と思い構成団体の一員として参加することになりました。昨年の一斉清掃では55名の会員が集まり、除草や清掃を行いました。陸から来る海のゴミも多いので、当会の行事を行う前に除草や清掃等の道守活動を行い、地域の環境保全を行っています。（事務局）



海の中に石垣が並ぶスクイ



魚を手づかみするイベントも開催



一斉清掃終了後の記念撮影

奥雲仙の自然を守る会（雲仙市）  
雲仙の原風景を守る  
私たちは、島原半島を縦断する国道389号沿いにある田代原草原の自然を守る活動を行っています。

日本でも最初に指定された国立公園内に位置する田代原は、奥雲仙とも呼ばれ牛や馬の放牧によって保たれてきた草原ですが、現在は放牧が減り草原が減り、豊かな自然の原風景を守るためには人の手が必要な状況となっているため、環境保全活動を行っています。



豊かな自然が守られている田代原の風景



子供達と一緒に清掃活動 一斉清掃終了後の記念撮影

社会福祉法人ほかにわ共和国（南島原市）  
地域のためにできることを  
ほかにわ共和国は、南島原市加津佐町にある障害者支援の福祉施設です。「共汗共育（障害の有無に関係なく人と共に汗を流し共に育つ）」を基本方針として活動しています。

当初から国道251号の清掃活動を続けており、さらに平成24年からは地域の農業用水の取水源として重要な蒲河川においても河川アダプトとして清掃活動を行っています。当施設利用者の高齢化により参加人数が減ってきてはいますが、出来ることを分担しながら多いときは50人程で清掃活動等を行っています。



一斉清掃終了後の記念撮影



国道251号からの夕日



道路だけでなく川も清掃

53団体と意見交換、連携を深めて!!

道守くまもと会議は、熊本県内の多くの市民団体や関係機関と連携し「自由で楽しくボランティア」を合言葉に、花壇づくりや清掃活動を行い、道路美化に貢献しています！また、令和2年度には活動状況を確認するため道守メンバーに連絡し、53団体と意見交換を行いました。

道守くまもと会議が展開する市民花壇は、地域の団体が管理しているので、花壇づくりには、開墾、堆肥を施す地拵えなどの専門作業が必要になります。そこで、「お助け道守隊」を組織し、県内各地の団体から要請があれば、すぐにかけて専門作業を手伝うようにしています。

くまもとの風（熊本市）

花壇づくりを学びました

職場で花壇づくりを行っている団体です。3年程前に、道守くまもと会議へ参加させて頂き、活動の輪が広がっています。花壇づくりも先輩から教えて頂き、写真のように今年はいよいよ花を咲かせることができました。20代、30代が中心の若いグループです。高齢化で活動が困難になった団体さんへの世代間で助け合いも行っていきます。（松岡由衣）



花が咲きました 作業を終えてひと休み いよいよ苗植え

ひまわり保育園（熊本市）

子供たちと地域を美しく

ひまわり保育園は、創立が昭和31年9月という歴史ある保育園で、現在、72名の子供達が在園中。都市部にある保育園として園庭や公園で草花に触れる環境を大事にしており、「豊かな感情と表現する楽しさ、喜びを育てる」に繋がると考えています。昨年、縁があつて、熊本県内一円で、道路美化に取り組んでおられる道守くまもと会議さんへ参加させて頂きました。



園庭に咲いたヒマワリ

地域の道路美化について一緒に取り組みはじめたばかりです。楽しみながら、子どもたちと一緒に地域を美しくしていけたらと考えています。（大滝喜和子）



子供達は元気です



ひまわり保育園の外観

道の駅阿蘇（阿蘇市）

阿蘇観光の拠点にして

雄大な阿蘇五岳を望むことができる道の駅阿蘇。阿蘇駅に隣接し、国道57号や阿蘇山への登山道等交通の結節点に位置しており、阿蘇観光の拠点です。道の駅阿蘇は、平成16年道守くまもと会議の創立メンバーとして、共に花壇づくりや地域の清掃活動を行ってきました。

九州最大の観光地阿蘇の中心地に位置し、阿蘇観光の拠点として、道守活動や、地域情報の発信基地として大きな影響力を果たしています。（一社）日本地域情報振興協会主催の「日本地域情報コンテンツ大賞2020」の最優秀賞を受賞しました。当駅では、阿蘇の特産品が豊富に揃う他、自然を満喫できるイベントも開催中！です。（原田恵佳）



道の駅阿蘇のマーケット



道の日に清掃しました



大人気の牧野（草原ガイドツアー）



道の駅阿蘇

道守みやざき会議

私たちが今できることを



道守みやざき会議は、先日 宮崎河川国道事務所と今年度の活動計画会議を行いました。新型コロナウイルスの影響で総会や道守団体と連携した交流会などが開催出来なかった昨年度を踏まえ、今年度は総会や植栽活動、連携事業などを実施する中で、感染症対策等に配慮しながら無理なく道守活動に取り組んでいきます。

今回は活動が制限される中、継続的に皆さんで道守活動に取り組んでいる2団体をご紹介します。



ごみ拾い・草抜き作業！「会社周辺道路」



ごみ拾い・草抜き作業！「松山橋」

太陽技術コンサルタント株式会社は、人間と自然と環境整備との調和を大切に、「道」を基本とした構造物や橋梁、河川等の測量や設計、調査の業務を行っています。

人と人との関りを大切に

太陽技術コンサルタント株式会社（延岡市）



道守活動おつかれさまでした！

道を守ることの大切さを強く感じている私たちが、平成十七年から「道守活動」として清掃ボランティア活動を始め、さらに偶数月に「橋守！河川守！」と活動を広げました。就業時間前の朝の活動の為、集合時は眠そうな顔の職員も、地域の方の「ありがと〜」や通学の子ども達の「おはようございます」の声に元気とやる気ももらい、清掃活動後は生き生きとした顔で戻ってきます。人と人を繋ぐ「道」での地域の方々との触れ合いを大切に、これからも道守活動を続けていきます。（総務部 栗栖理恵）



国道10号 除草・清掃活動（延岡市塩浜町）



道守活動後の集合写真

建設業に携わる我々は、社会資本の建設や道路維持管理を行いながら、地域の一翼を担うとともに、災害発生時の復旧等に努めながら、地域を守ることを使命と捉えています。

その一環として、道路利用者が少しでも快適に利用できればという思いから、主に主要道路である国道の美化活動に取り組んでいます。

活動中に地域の方から頂いた労いの言葉は我々の今後の活力になります。

今後も暑さ寒さ、そしてコロナに負けずに、この活動に取り組んでいきたいと思えます。

（土木部 志田和弘）

日新興業株式会社（延岡市）

地域を守る 道路の番人！

ポストコロナ社会に向けた取組にチャレンジ！

道守大分会議

令和2年度、大分では道守・風景街道・道の駅の3者の特性を活かしながらの連携を、オンラインを通じて話し合うオンラインシンポジウムを2回開催し、コロナ禍なりの交流を深めました。また、変異型ウイルスのワクチン効果がわからない現在、集まることをためらいますが、道守は、人と人のつながりで顔の見える活動です。だからこそ、地域貢献のため無理なくできることを継続していきたいと思えます。

3つの輪オンラインシンポジウム（2020年11月）筑波大学・石田東生名誉教授、大分市・木原正智副市長、大分銀行・菊口邦弘常務取締役、北海道からシーニックハイウェイ支援センター・原文宏所長等にもご参加いただきました。



うすきの道を考える女性の会（臼杵市）

はじめまして、よろしくです。

女性の視点で「道から波及するまちづくり」を考えて行動する」を目的に、勉強会などを開催し、道に対する提言等を行ってきましたが、道への思いを活動としてどのように活かすかと考え、昨年道守活動に参加したばかりの新人です。

今回、「国宝 臼杵石仏」を訪れる皆様をお花でもてなし出来ればと、国道502号（臼杵石仏入口）に花壇を作製しました。四季折々の花を植え、清掃等を実施し、鮮やかな花が皆さんの癒しになれますように道守活動



臼杵石仏にお越しの際は、ぜひ「おもてなし花壇」を見てください



お花を選ぶのも楽しかったです

を行っていきたいと思います。（事務局 桑野富士子）

国交省 大分OB会「豊友会」

（大分市 佐伯市 中津市）

「会員相互の親睦」と「国交省との連携」地域に貢献!!

「豊友会」は会員総数119名（うち県内会員は53名・平均年齢73・9歳）で、大分県内の勤務経験のある国交省退職者の会です。会員相互の親睦と「国交省との連携」を目的に活動し、その目的達成のツールの一つとして道守活動等ボランティア活動を実施しています。

従来は、国道10号の歩道清掃（大分地区と中津地区）を年4回ほど実施していましたが、令和2年度から新たな取組みを始めました。

①大分・中津に加えて佐伯地区も活動を開始。

②従来は会員のみでの活動でしたが、国交省現役職員との協働作業に取組みました。

③道守大分会議主催の「大分国際車いすマラソン前日一斉清掃」へ参加し大分川河川敷の清掃。道守大分会議としても初めての河川敷清掃でした。



3月13日 佐伯市内 国道10号清掃活動



大分河川国道事務所職員と豊友会



3月13日 大分市内 国道210号清掃活動



佐伯河川国道事務所職員と豊友会

④その大分川の堤防にある階段除草を大分出張所の声掛けで岩田高校のボランティア部・地元自治会等と一緒に作業を行いました。

令和2年度はコロナ禍のため、満足のいくボランティア活動にはなっていませんが、延べ人数103人の活動でした。今後も活動を継続し、少しでも地域に貢献できればと思います。

（副会長 春田義信）



# わたしの好きな道

## 道空間文化人類学のススメ

「この道はいつか来た道 あゝあそびだよ お母さま」馬車で  
行ったよ...」誰もが知っている白秋の「この道」。道を舞台に、  
人の人生は色々な幕が開き、幕が下りる。  
転校して行く僕は、クラス全員の見送りに笑顔で手を振り、  
角を曲がり、くるりと背を向け、こぼれた涙がドット溢れたコ  
トも、道のほろ苦い思い出だ。  
道には道路という役目だけでなく、「生活の場」として重要な  
機能があるということこそ、私たちは、車優先・舗装整備ととも  
に忘れてしまったように思える。  
個々の家々を繋ぐ道は、誰もが使える生活空間でもある。子ど  
もたちが石けりや縄跳びをし、隣同士が朝から顔を合わせ「お  
早う、今日も元気。」と声を掛け合う道。喧嘩をし、仲直りをす  
るのも道なのだ。つまり道は、道路機能とともに、道空間を通  
じて人間関係を潤滑に成立させる大切な一面も持っている。  
今、日本が世界がコロナ禍の中、苦しみ喘いでいる。一方、  
東京は密に、地方は疎に悩んでいる。本来生活の場であった道  
は、皆んなのもの私たちの道だという意識が無くなったように  
思える。子どもたちは家でゲームに夢中で、道には出てこない。  
道で遊ぶものなら、車がクラクションを鳴らし、大人たちが  
目くじらを立てる。道を平面として近視眼的にとらえず、道空  
間として、立体的に俯瞰的に組み立て直す作業が、今こそ必要  
に思える。  
打ち水をし、箒・塵取りで道を清め、道に感謝する。打ち水  
も掃除も自分の家の前だけでなく、隣りにチョットかぶる程度  
に気を遣う。「お醤油貸して、切れたの」と言える近所関係を結  
ぶ場として道の機能は重要な。道は、お互いを認め合い、いた  
わり合う生活の場、子どもたちの大切な教育の場なのだ。そう  
いった失われた「道空間文化人類学」を、SNSを駆使し、丹  
念に拾い集め、再構築し、拡散し、誰もが笑顔になる社会をも  
う一度取り戻す時が、来ているように思う。

■プロフィール  
**加藤 千明** (かとう・ちあき)  
熊本市出身・別府市在住  
日本風景街道 別府湾岸・国東半島  
海への道推進協議会事務局局長  
道守大分会議 世話人  
おかずやエールCEO

## コロナ禍の今だからこそ

道守かごしま会議では、コロナ禍で地域のイ  
ベント等は中止を余儀なくされ、様々な活動が  
自粛されました。しかし、立ち止まっていた  
は何も出来ません。コロナ禍の「今だからこそ」  
出来ることをコンセプトに、感染症対策を施し  
活動しました。

まず、ワークショップ・意見交換会を行い、  
地域資源の魅力を探り、それぞれの資源同士  
の情報共有を図りました。

また、年間を通じて花いっぱいのおもてなしでお迎えするため、定期的に取り組んでいる花植えも行いました。道  
往く人々が、見る花を通じて景観を楽しみ、癒しになれることを願っています。

「今だからこそ」出来ること、それは、温かいおもてなしの心を感じていただける、迎えるための充実した準備期  
間へ繋がったと期待しています。



ワークショップ・意見交換会



バラ通り220(札元地区協力会)  
心を込めて育てます



清掃時も、マスク着用徹底!



国道58号線の清掃活動



清掃後、集合写真

**かしんは創業100周年**  
近年は、新型コロナウィルスの影響により、ニューノーマ  
ルの生活が定着し、皆様のライフスタイルが大きく変化して  
おります。  
そのような中、鹿児島信用金庫は2022年に100周年  
を迎えるにあたり、「かしんITの杜」の企画として、皆様  
の事業のIT化をお手伝い  
します。  
また、当金庫は地域の「見  
守り隊」として朝の声掛け運  
動や定期的に地域のボラン  
ティア清掃をおこなっており  
ます。今後とも地域に根差  
した信用金庫として、お客様  
と共に日々成長していきたい  
と思えます。  
(本店営業部 部長  
米森幸一)

鹿児島信用金庫 (鹿児島市)



旅行者を「おもてなし」するため高速  
道路の出入口周辺もキレイにします



コロナ禍でもマスクを着用して  
ボランティア活動を頑張ります

**地域へのおもてなし!**  
**気持ちをごめて! ボランティア活動**  
株式会社新日本技術コンサルタンツは、鹿児島市街への玄  
関口となる南九州西回り自動車道西ランプ高架沿いに位置  
し、国の「ボランティアサポータープログラム」、県の「ふる  
さとの道サポーター」、「みんなの水辺サポーター事業」等の一  
環として平成21年度に「新日本技術ハットクラブ」を結成し  
ました。定期的(4回/年)に沿道周辺の空き缶、ゴミ等の  
収集清掃及び会社近くの「新川」沿いの清掃等を行っていま  
す。今後も地域コンサルタンツとして企業活動を行うと共に  
社会ボランティア活動として社会環境美化に取り組んで行き  
ます。  
(代表取締役 上野竜哉)

株式会社新日本技術コンサルタンツ (鹿児島市)

# 九州風景街道 令和3年度 5つのチャレンジ

国土交通省 九州地方整備局 道路部 道路管理課

## ●令和3年度5つのチャレンジ

「日本風景街道」は平成19年に発足し、「九州風景街道」の九州15ルートのうち、10ルートが登録後10年以上経過しました。九州ルートの魅力は多種多様であり、ルート毎に取組内容や成熟度、課題等も様々な状況にあります。新型コロナウイルスを契機としたニューノーマルな社会に向け、九州



風景街道では、令和2年度よりコロナ禍においてもできる取組として、見える化をテーマに、「5つのチャレンジ」と称し、①道路情報板へのルートの標示、②オンラインによる交流・連携の強化、③観光部局等との取組展開に合わせたPR、④サイクルイベントの開催、⑤各種広報媒体の一新等を掲げ、取り組んでまいりました。

令和3年度においても後述する「5つのチャレンジ」を策定し、九州地方整備局としましても、引き続き九州風景街道の支援を行ってまいります。

## ●①ステッカー設置展開

令和2年度に作成した「九州風景街道ステッカー」について団体や事務所・関係者合同で設置するイベント等を開催するなど、風景街道のPR、認知度向上を図ります。



九州風景街道ステッカー (令和2年度作成)



景観診断 (イメージ)

## ●②ブラカイドー

景観の専門家及び地域・風景街道に精通した方々と実際にルートを巡りながら、ルートの秀逸化(風景診断、周遊性向上策の展開等)について意見交換を実施します。

また、「ブラカイドー」に参加していない方や九州他ルートの方々にも興味を持っていただけよう、ルート巡りの様子を撮影・保存し、短編動画としてアーカイブ化の上、動画を配信し、広くPR・周知することを検討します。

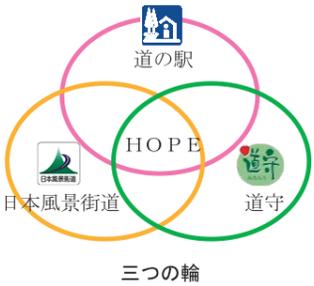
## ●③ほこみち活用促進

歩行者利便増進道路制度や新型コロナウイルスの影響により緩和された道路占用の特例制度を風景街道として活用し、地域の活力創造に向けた賑わいのある道路空間の実現に向けた取組の推進を図ります。



## ●④多様な団体との連携

3つの輪(道守・風景街道・道の駅)の連携強化を図り、3つの輪と風景街道大学の九州各地への横展開を目指すほか、大学・高校や観光推進など多様な団体との連携を検討します。



## ●⑤参加型イベント等の開催

サイクルを活用したツーリズムイベントやSNSを利用したユーザー参加型のキャンペーンを実施し、ポストコロナ時代の地域の繋がりが方や風景街道の活動に賛同してもらう仕組みを検討します。

## 令和3年度 5つのチャレンジメニュー

### 1 ステッカー設置展開

R2年度に作成したステッカーを各ルートに展開し、風景街道をPR!



### 2 ブラカイドー

専門家や地域に精通した方とルートを探り、ルートの魅力を磨き上げていく!



ルート巡りの様子を動画で記録し、全世界へ配信!

### 3 ほこみち活用推進

ほこみち制度を活用した賑わいのある道路空間実現を推進!



### 4 多様な団体との連携

3つの輪・風景街道大学を九州各地で展開! 大学等多様な団体との連携!



### 5 参加型イベント等の開催

サイクルツーリズムやSNSでユーザー参加型のキャンペーンを実施!



## ●日本風景街道の今後について

ポストコロナ時代へ向けて、オープンスペースの重要性の再認識、オンライン等での交流など新しい日常への移行が始まっています。事務局としまして

も、いま出来ることを再確認し、九州風景街道のポテンシャルを活かした取組を展開するなど、九州風景街道の活動の一層の活性化を図ってまいります。

●「みちづくし in 北九州2021」の開催計画まとまる

# 参集会議と各県のサテライト会場を オンラインで結ぶ新方式

「みんなで手をつなごう—連携の道守活動へ」をテーマに開催予定の「みちづくし in 北九州」の第2回実行委員会が北九州市役所で開かれ、開催計画の骨格が決まった。新型コロナウイルス禍の中での開催になるため、九州全域から参集して開かれてきた道守交流会は、道守さんが一堂に集まる方式を全面的に変更、「各県代表が集まる参集交流会」（北九州メイン会場）と各県のサテライト会場をオンラインで結ぶ現地参加の二つを組み合わせた特別方式で開催することが決まった。

開催日時は令和3年11月30日、北九州AIM（北九州市小倉北区IIJ R小倉駅前がメイン会場。新型コロナウイルスの流行で例年のような全員が一つの会場に集まるのではなく、規模を150〜200人に縮小、かつソーシャル・ディスタンスを十分とって開催する。そのほか各県にサテライト会場を置き、オンラインで主会場と結び、一体として開催する新方式を採用することになった。新型コロナウイルス流行で例年のような大規模な会場になることを避けるため、この新方式で行うことを、実行委員会で協議、

## 11月30日開催、12月1日現地体験学習 「連携の道守活動をいかに発展させるか」をテーマに

場とオンラインで結び「メイン会場」の交流会に参加、意見交換や協議に加わる。サテライト会場の設定など具体的には、今後、実行委員会と現地で協議して決めてゆく。

交流会の進め方は、基調講演と各県活動報告、吉武哲信・道守ふくおか会議代表世話人（九州工業大学教授）をコーディネーターに意見交換を進める。交流会の主テーマは「連携の道守活動をどう推進するか」。

基調報告は、北九州市が推進している「道路サポーター制度」を中心

に、行政と市民の道守さんが共同で推進してきた道守活動について行い、行政と道守の連携の進めている北九州市の実績を踏まえ、今後を展望する。

活動報告は新型コロナウイルスの流行にもかかわらず、知恵と工夫で道守活動を展開している活動の報告を各県代表に発表してもらおう。

意見交換は先導的な北九州道路サポーター制度の実績を踏まえ、それを参考にしながら九州全域に「行政



第2回実行委員会

と道守の連携」をいかに広げてゆか、行政だけでなく道守同士の連携、他のボランティア団体との共同活動について、その展望や課題を洗い出し、論議を深め、実践への道を探る。

オンラインで結ばれたサテライト会場からの積極的な論議参加が期待される。

2日目の現地体験学習は、北九州市ボランティアガイドの案内で、大正時代建設され全面改修されたJR門司港駅（門司港レトロ地区）の見

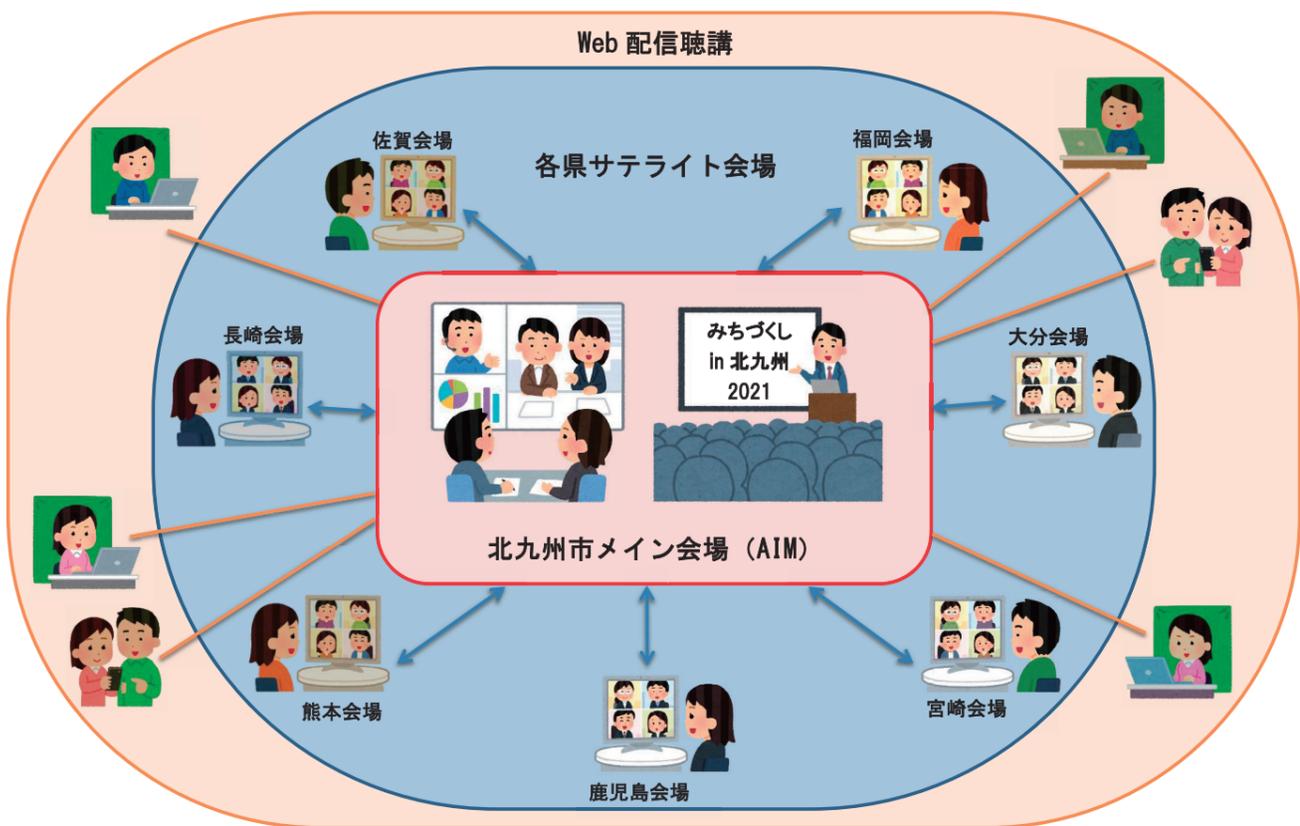
学からスタート、関門トンネルに併設された海底人道トンネルを歩いて関門海峡を渡り、下関側からの関門橋、唐戸市場（フクのせり）で有名）を見学し、連絡船で海峡を渡り門司港レトロに帰着する。

新方式の開催で、なお課題は多くあるが、実行委員会と各県会議の連絡を密にしなから準備する。また、サテライト会場の設定、機材の設置

などは道守事務局が現地関係者と相談しながら進めてゆくことにしている。

まったく新しい試みのため、準備、開催にはなお、様々な課題があるが実行委員会では、これを一つ一つ乗り越え、例年のような楽しく、にぎやかな「みちづくし」大会を目指すことで合意した。

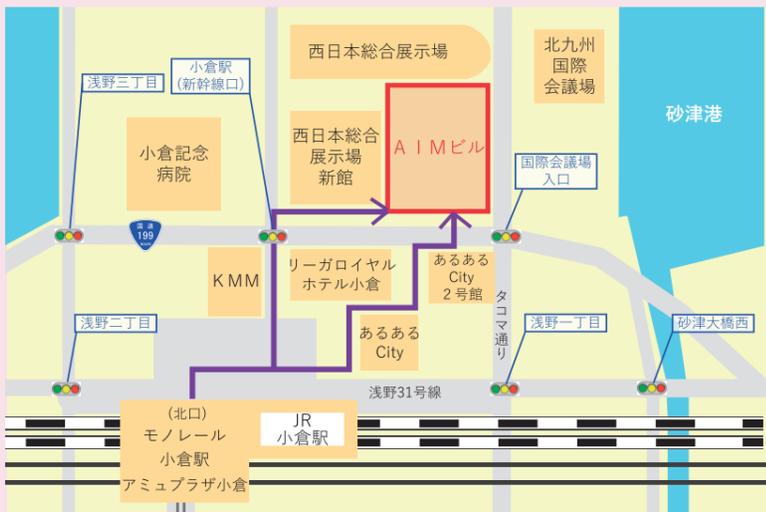
### オンライン開催イメージ図



### 「みちづくし in 北九州2021」開催案内

テーマは「みんなで手をつなごう—連携の道守活動へ」

- 日時 令和3年11月30日(火)~12月1日(水)
- 場所 AIM (北九州市小倉北区浅野3丁目8-1)
- 【1日目】交流会 【2日目】現地体験学習





葉隠会道守部会の活動

## 次世代につなげる新たな活動をめざして！

道守佐賀会議 NPO 法人技術交流フォーラム 南嶋 佳典さん(65歳)



道守佐賀会議世話人(NPO 法人技術交流フォーラム)の南嶋です。昨年の12月末まで葉隠会道守部会の部長として約4年間道路美化活動に取り組んできました。今年からNPO 法人技術交流フォーラムの会員の立場で、引き続き道守佐賀会議の世話人としてお世話になります。

結んでいる国道の道路清掃を行ってきました。現在の主な活動としては、①佐賀城下ひなまつり清掃(来ていただく方におもてなしの心で気持ち良い散策が楽しめるように開催周辺の道路清掃を行っています。)、②さが桜マラソン応援掃除(ランナーには快適に走っていただくため、沿道の応援団には気持ちよく声援をおくっていただけるように)や③国道の道路清掃活動を行っています。

技術交流フォーラムは、佐賀県内の技術者で構成されているNPO 法人です。こちらは、技術支援、環境、防災、国際部会など活動内容が多岐にわたっています。道守と技術交流フォーラムの特徴を生かした連携が図っていければと思っています。小学校での防災教育などにも取り組んでいます。

令和2年度の道守活動は、コロナ禍もあり満足な活動ができませんでした。しかし、これを好機と捉え令和3年度からの新たな取り組みについて検討する時間が確保できました。その一環として道守佐賀会議でもツイッターを始めました。皆様もぜひフォローをお願いします。また、後継者の育成にも取り組んでまいります。

これからも道守活動とおして微力ながら少しでも地元にて恩返しできればと願っています。



道守佐賀会議の活動



道守佐賀会議  
ツイッター  
フォロー  
お願いします!

(E-mail: r\_wiki884@yahoo.co.jp)

## 道守たちのトピックス

### ■ #3つの輪清掃活動

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



「4月22日が「道の駅の日」なので、「3つの輪」で何かやってみませんか」と3月末、道の駅阿蘇の下城駅長からご連絡をいただき、すぐにリモート会議を実施しました。こういうご時世なので、同じ時間軸で、同じ目的で行動し、それを共通認識としてSNSで発

信してみましようか...と話がまとまりました。ご存知の通り、九州で国交省の道路関連の団体は、道の駅・風景街道・道守があります。3者の目的は違いますが「道」を通じて地域に貢献しています。

大分では、平成28年からこの3者の特性を活かしながらも緩やかな連携によって更なる地域貢献を考える「3つの輪シンポジウム」を開催してきました。わかったことは、道の駅は、多機能な運営をするにあたり、道守や風景街道の存在を知らない道の駅が多数。最初は相互理解をする

ころから始まり、語り合うことでお互いの実態を知り、少しずつ距離を縮めてきました。

今回、九州・沖縄「道の駅連絡会」を通じ、約150カ所の道の駅へ「道の駅週間(4/22)」に活動者さんたちと清掃活動等を行い、共通のキーワードでSNS発信しアピールをお願いします!と依頼したので、共鳴してくれる道の駅がいくつかでもあればいいなあと淡い期待をもった挑戦でした。

4月22日、大分では3つの輪に深く携わってくださっている道の駅みえ(豊後大野市)にて活動を実施。後藤駅長の声かけもあり、平日午前にも関わらず70名以上の方が集まり、国道を清掃しました。このパワーは、道の駅に集まる地域愛(ファン)であり、熱意であり、連携のパワーなのだと思えました。



結果、この期間道守さんたちが最寄りの道の駅と一緒に清掃活動・花植え活動に参加したことを知り、道守さんたちの妻さんに感謝しました。ソーシャル&グロバル社会になった今、3者の目的である道を舞台に地域に根ざし、地域に還元するローカリズムが大切で、3つの輪がポストコロナ社会における社会に必要なコミュニケーションとしてこれから成長して欲しいと切に願っています。

## 横顔

### ● 道路管理課長 猪狩 名人氏



猪狩名人道路管理課長は、本年4月より宮崎河川国道事務所副所長から、現職に就任。宮崎県延岡市出身。「より良い道づくり、地域づくりを進めるパートナー」として道守の皆様と歩んで参りたい。」と語られています。

## 道守通信 編集後記

◎昨年からの新型コロナウイルスに振り回され、「密閉」「密集」「密接」の三つの密を避け、外出を規制されたり、思うように春を楽しむことができませんでした。道守活動にも制限がかかっているのではないかと心配していましたが、「私たちの道守活動」にはたくさん投稿いただき、道守の皆さんは元気に活動を進められており、心強く誇らしく「さすが道守さん!」と痛感しました。

◎熊本地震から丸5年、阿蘇地域の復興で新阿蘇大橋が完成し、それに先立ち、依山ルートの開通、大規模な山崩れも全て復旧しました。巻頭インタビュー

に変えて座談会を掲載しましたが、阿蘇地域の守り人の阿南さんは大分や宮崎の人達も大いに喜んでおいでとのことでした。復旧に携わった職員の苦労話も掲載し、復興までの経緯を理解していただければ幸いです。今後は、阿蘇地域の観光や災害遺構の活用などまだまだたくさんある事を地元は担って行かれることでしょう。ますます発展することを願うばかりです。

◎大分の木ノ下さんからの情報で4月22日は「全国道の駅の日」で、4月22日、28日は「道の駅週間」だそうです。大分は以前から道守・風景街道・道の駅と三

つの輪で連携されていますが、いよいよ「#3つの輪清掃活動」始動です。各県の道守会議へも情報共有をされているので、実施された所があれば、情報提供をお願いします。

◎昨年実施できなかったみちづくしは、この秋「みちづくしin北九州2021」として募集とWEBを活用して11月30日・12月1日に開催します。全く新しい取り組みで不安がありますが、まずはチャレンジ。画面上での会話でスムーズではないかもしれませんが、サテライトもたくさん準備したいと考えていますので多数のご参加をお待ちしています。

# ～道守を支援いただいている賛助会員の皆様(団体・企業)～

※順不同

|                             |                            |                      |
|-----------------------------|----------------------------|----------------------|
| (一社)九州地域づくり協会               | 九州国道協会                     | 九州電力(株)              |
| (一社)プレストレストコンクリート建設業協会 九州支部 | (一社)日本道路建設業協会 九州支部         | 福岡市道路利用者会議           |
| (一社)福岡県建設業協会                | 福岡県道路協会                    | 株大林組 九州支店            |
| (一社)佐賀県建設業協会                | 佐賀県道路愛護協会                  | 鹿島建設(株) 九州支店         |
| (一社)長崎県建設業協会                | 長崎県道路協会                    | 建設サービス(株)            |
| (一社)熊本県建設業協会                | 熊本県道路利用者協会                 | 清水建設(株) 九州支店         |
| (一社)大分県建設業協会                | 大分県道路利用者会議                 | 大成建設(株) 九州支店         |
| (一社)宮崎県建設業協会                | 宮崎県道路利用者協議会                | 長幸建設(株)              |
| (一社)鹿児島県建設業協会               | 鹿児島県道路利用者協議会               | 西日本高速道路(株)九州支社       |
| 日新興業(株)                     | 福岡北九州高速道路公社                | 九州技術支援協議会            |
| (株)九州建設マネジメントセンター           | (株)熊谷組 九州支店                | 西日本高速道路エンジニアリング九州(株) |
| 西日本高速道路メンテナンス九州(株)          | 阪神高速技術(株)                  | サンコーコンサルタント(株) 九州支社  |
| みちを考える会                     | 朝日開発コンサルタンツ(株)             | 旭建設(株)               |
| 朝日工業(株)                     | 朝日テクノ(株)                   | (株)アジア技術コンサルタンツ      |
| (株)アップス                     | (株)安部日鋼工業 九州支店             | (株)安藤・間 九州支店         |
| いであ(株) 九州支店                 | 烏城塗装工業(株)                  | (株)エイト日本技術開発 九州支社    |
| (株)エスイー 九州支店                | NTTインフラネット(株) 福岡支店         | NTTインフラネット(株) 熊本支店   |
| NTTインフラネット(株) 鹿児島支店         | (有)エンジニアプランニング             | 扇精光コンサルタンツ(株)        |
| 大分瓦斯(株)                     | 大分県建設業協会 大分支部              | 大分県道路舗装協会            |
| 大分交通(株)                     | (株)大島造船所 九州営業所             | (株)岡崎組 勝盛会           |
| (株)荻島組                      | (株)オリエンタルコンサルタンツ 九州支店      | 鹿児島土木設計(株)           |
| (株)片平新日本技研 福岡支店             | 上内電気(株)                    | 川田建設(株) 九州支店         |
| (株)カンドー 九州支店                | 九建設計(株)                    | (株)九州開発エンジニアリング      |
| 九州環境管理(株)                   | 九州建設コンサルタント(株)             | 九州地区道路利用者会議          |
| 九州みちの会                      | 協同エンジニアリング(株)              | (株)橋梁コンサルタント 西日本支社   |
| (株)建設環境研究所 九州支社             | (株)建設技術研究所 九州支社            | (株)建設技術コンサルタンツ       |
| (株)建設技術センター                 | (一社)建設コンサルタンツ協会 九州支部       | (株)鴻池組 九州支店          |
| コーアツ工業(株)                   | (株)国土開発コンサルタント             | (株)コバルト技建            |
| (株)駒井ハルテック 九州営業所            | (株)西海建設                    | 西部ガス(株)              |
| (一社)佐賀県県土づくりコンサルタンツ協会       | (株)サタコンサルタンツ               | (株)ジャストエンジニアリング      |
| 昭和コンクリート工業(株) 九州支店          | 新成建設(株)                    | (株)新日本技術コンサルタント      |
| (株)親和コンサルタント                | (株)末宗組                     | (株)西部技建コンサルタント       |
| (株)センコー企画                   | (株)総合技術コンサルタント 九州支店        | そうじの会(多久の未来を創る会)     |
| (有)測量企画センター                 | (株)そよかぜ館(「道の駅大和」)          | 大日本コンサルタント(株) 九州支社   |
| 大福コンサルタント(株)                | 太陽技術コンサルタント(株)             | (株)高山組               |
| 瀧上工業(株)                     | 宅島建設(株)                    | 谷川建設工業(株)            |
| (株)玉の湯                      | (株)地域科学研究所                 | 中央コンサルタンツ(株) 福岡支店    |
| 中央復建コンサルタンツ(株)              | (株)長大 福岡支社                 | (株)長大テック 福岡支店        |
| 通信土木コンサルタント(株) 九州支店         | (株)東亜コンサルタント               | 東急建設(株) 九州支店         |
| (株)東京建設コンサルタント 九州支社         | (株)東豊開発コンサルタント             | 東洋技術(株)              |
| 利光建設工業(株)                   | 戸田建設(株) 九州支店               | (株)友岡組               |
| (株)友岡建設                     | (株)名村造船所 福岡営業所             | 南生建設(株)              |
| (株)西九州道路                    | 西日本技術開発(株)                 | 西日本建技(株)             |
| 西日本コンサルタント(株)               | 西日本コントラクト(株)               | (株)日建コンサルタント         |
| 日鉄鉱山コンサルタント(株) 福岡支店         | 日本乾溜工業(株)                  | 日本軌道工業(株)            |
| 日本工営(株) 福岡支店                | (一財)日本造園修景協会 大分県支部         | 日本地研(株)              |
| (株)野村建設                     | 葉隠会道守部会                    | (株)萩原技研              |
| パシフィックコンサルタンツ(株) 九州支社       | (株)ピーエス三菱                  | (株)日高本店              |
| 福地建設(株)                     | (株)福山コンサルタント               | (株)富士設計              |
| (株)富士ピー・エス                  | (株)ぶぜん街づくり会社(「道の駅」豊前おこしかけ) | 復建調査設計(株) 九州支社       |
| 前田建設工業(株) 九州支店              | 松尾建設(株)                    | 松本技術コンサルタント(株)       |
| (株)丸福建設                     | (株)水野建設コンサルタント             | (有)道の駅みえ             |
| 宮崎空港ビル(株)                   | (株)宮崎産業開発                  | 宮地エンジニアリング(株) 福岡営業所  |
| 村本建設(株) 九州支店                | 八千代エンジニアリング(株) 九州支店        | (株)ヤマウ               |
| (株)ヤマックス                    | (株)横河ブリッジ 福岡営業所            | 龍南建設(株)              |
| 個人会員68名                     |                            |                      |



発行 「道守九州会議」

広報誌「道守通信」春号  
令和3年5月発行

## 「道守九州会議」事務局

■道守支援室(九州地方整備局道路管理課内)

〒812-0013 福岡市博多区博多駅前2丁目10番7号  
TEL.092-471-6331(代) FAX.092-476-3481

■(一社)九州建設技術管理協会内

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目19番3号  
TEL.092-471-0189 FAX.092-414-0767

道守HP <http://www.qsr.mlit.go.jp/n-michi/michimori/> e-mail [michi-kima@kyugikyo.or.jp](mailto:michi-kima@kyugikyo.or.jp)